



# OpenShift Dedicated 4

## スタートガイド

OpenShift Dedicated のスタートガイド



## OpenShift Dedicated 4 スタートガイド

---

OpenShift Dedicated のスタートガイド

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

## 法律上の通知

Copyright © 2021 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Getting\_started.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux<sup>®</sup> is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java<sup>®</sup> is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS<sup>®</sup> is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL<sup>®</sup> is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js<sup>®</sup> is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack<sup>®</sup> Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

## 概要

OpenShift Dedicated クラスターのスタートガイド

---

## 目次

<b>第1章 クイックスタート</b> .....	<b>3</b>
1.1. クラスターの作成	3
1.2. アイデンティティプロバイダーの設定	3
1.3. ユーザーの追加	5
1.4. クラスターへのアクセス	5
1.5. OPENSIFT サービスカタログを使用したアプリケーションのデプロイ	6
1.6. クラスターのスケーリング	7
1.7. クラスターの削除	7



# 第1章 クイックスタート

このクイックスタートでは、クラスターの作成とプロビジョニング、ユーザーの追加、最初のアプリケーションのデプロイ、およびクラスターのスケールリングと削除の方法を説明します。

## 1.1. クラスターの作成

Red Hat が所有するクラウドプロバイダーアカウントにデプロイされる標準の OpenShift Dedicated クラスターを迅速に作成できます。

### 手順

1. [OpenShift Cluster Manager\(OCM\)](#) にログインします。
2. **Create Cluster** → **Red Hat OpenShift Dedicated** → **Create Clusters** をクリックします。
3. クラウドインフラストラクチャプロバイダーを選択します。
4. 課金モデルに **Standard** を選択します。
5. **クラスター名** を入力します。
6. **Region** を選択し、**Single zone** または **Multizone** を選択します。
7. **Compute node instance type** および **Compute node count** を選択します。利用可能なノード数および種類は、OpenShift Dedicated のサブスクリプションによって異なります。
8. 任意手順: **Edit node labels** を展開してラベルをノードに追加します。**Add label** をクリックして、さらにノードラベルを追加します。
9. デプロイされたクラスターに設定する **Persistent Storage** および **Load Balancer** の量を選択するか、デフォルトを受け入れます。
10. **Basic Network** 設定がデフォルトで選択されます。この設定により、デフォルト値を使用してクラスターの新規の VPC が作成されます。
11. クラスターの更新方法を選択します。**Manual** がデフォルトで選択されます。新規バージョンが利用可能になるとクラスターを自動的にアップグレードするには、**自動** オプションを選択します。自動アップグレードを選択する場合は、アップグレードを開始するために、曜日と時間 (UTC) を指定する必要があります。
12. オプション: クラスターのアップグレード時に **Node Draining** の猶予期間を設定できます。デフォルトでは **1時間** の猶予期間が設定されます。
13. **Create cluster** をクリックします。クラスター作成プロセスが開始され、完了するまでに 30 - 40 分かかります。

### 検証

- **Overview** タブの **Installing cluster** という見出しは、クラスターがインストール中であることを示し、この見出しからインストールログを確認できます。**Details** 見出しの **Status** インディケータは、クラスターが使用できる **Ready** 状態であることを示します。

## 1.2. アイデンティティプロバイダーの設定

OpenShift Dedicated クラスターの作成後に、アイデンティティプロバイダーを設定して、ユーザーがクラスターにアクセスする方法を決定する必要があります。この例では、GitHub アイデンティティプロバイダーを設定します。



### 警告

GitHub 認証を設定することによって、ユーザーは GitHub 認証情報を使用して OpenShift Dedicated にログインできます。GitHub ユーザー ID を持つすべてのユーザーが OpenShift Dedicated クラスターにログインできないようにするために、アクセスを特定の GitHub 組織またはチームのユーザーに制限する必要があります。

### 前提条件

- OAuth アプリケーションは、GitHub 組織管理者によって GitHub [組織設定](#)内に直接作成する必要があります。
- [GitHub 組織またはチーム](#)が GitHub アカウントに設定されている必要があります。

### 手順

1. **Clusters** ページに移動し、アイデンティティプロバイダーを設定する必要のあるクラスターを選択します。
2. **Access control** タブをクリックします。
3. **Add identity provider** をクリックします。



### 注記

クラスターの作成後に表示される警告メッセージの **Add OAuth configuration** リンクをクリックして、アイデンティティプロバイダーを設定することもできます。

4. ドロップダウンメニューから **GitHub** を選択します。
5. アイデンティティプロバイダーの一意の名前を入力します。この名前は後で変更することはできません。
  - **OAuth callback URL** は提供されるフィールドに自動的に生成されます。これを使用して GitHub アプリケーションを登録します。

```
https://oauth-openshift.apps.<cluster_name>.  
<cluster_domain>/oauth2callback/<idp_provider_name>
```

以下は例になります。

```
https://oauth-openshift.apps.example-openshift-cluster.com/oauth2callback/github/
```

6. [アプリケーションを GitHub に登録](#)します。



7. OpenShift Dedicated に戻り、ドロップダウンメニューからマッピング方法を選択します。ほとんどの場合、**Claim** が推奨されます。
8. GitHub から提供される **Client ID** および **Client secret** を入力します。
9. **hostname** を入力します。GitHub Enterprise のホステッドインスタンスを使用する場合は、ホスト名を入力する必要があります。
10. 任意手順: 認証局 (CA) ファイルを使用して、設定された GitHub Enterprise URL のサーバー証明書を検証できます。**Browse** をクリックして **CA ファイル** を見つけ、これをアイデンティティプロバイダーに割り当てます。
11. **Use organizations** または **Use teams** を選択し、アクセスを特定の GitHub 組織または GitHub チームに制限します。
12. アクセスを制限する組織またはチームの名前を入力します。**Add more** をクリックして、ユーザーが所属できる複数の組織またはチームを指定します。
13. **Confirm** をクリックします。

## 検証

- 設定されたアイデンティティプロバイダーが **Clusters** ページの **Access control** タブに表示されるようになりました。

## 1.3. ユーザーの追加

管理者ロールは、クラスター上の **dedicated-admins** グループを使用して管理されます。OpenShift Cluster Manager (OCM) からユーザーを追加し、削除することができます。

## 手順

1. **Clusters** ページに移動し、ユーザーを追加するクラスターを選択します。
2. **Access control** タブをクリックします。
3. **Cluster administrative users** 見出しで、**Add User** をクリックします。
4. 追加するユーザー ID を入力します。
5. **Add user** をクリックします。

## 検証

- これで、**Cluster administrative users** 見出しの下にユーザーが一覧表示されます。

## 1.4. クラスターへのアクセス

アイデンティティプロバイダーを設定したら、ユーザーは OpenShift Cluster Manager (OCM) からクラスターにアクセスできます。

## 前提条件

- クラスターが作成済みである。

- アイデンティティプロバイダーがクラスター用に設定されている。

## 手順

1. [OpenShift Cluster Manager \(OCM\)](#) で、アクセスするクラスターをクリックします。
2. [Open Console](#) をクリックします。
3. アイデンティティプロバイダーをクリックし、クラスターにログインするためのクレデンシャルを指定します。

## 検証

- クラスターにアクセスすると、OpenShift Dedicated クラスターのコンソールに移動します。

## 1.5. OPENSIFT サービスカタログを使用したアプリケーションのデプロイ

OpenShift Web コンソールから、組み込みサービスカタログアプリのいずれかをデプロイし、ルートでアプリケーションを公開できます。

### 前提条件

- アクティブな状態で稼働しているクラスター。

## 手順

1. OpenShift Cluster Manager (OCM) から **Open console** をクリックします。
2. **Administrator** パースペクティブのサイドナビゲーションメニューから **Home** → **Projects** をクリックし、**Create Project** をクリックします。
3. プロジェクトの名前を入力します。任意手順: **Display Name** および **Description** を追加します。**Create** をクリックします。
4. サイドナビゲーションメニューから **Developer** パースペクティブに切り替え、アプリケーションを作成します。
5. サイドナビゲーションメニューの **+Add** をクリックします。**Add pane** メニューバーから、**Project** が先ほど作成したものであることを確認します。
6. **From Catalog** をクリックします。ペインに **Developer Catalog** が開きます。
7. ペインのナビゲーションメニューから **Languages** → **JavaScript** をクリックします。
8. **Node.js** をクリックしてから **Create Application** をクリックします。**Node.js** を選択すると、**Create Source-to-Image Application** ペインが開きます。



### 注記

**Clear All Filters** をクリックして **Node.js** オプションを表示する必要がある場合があります。

9. **Git** セクションで **Try Sample** をクリックします。

- スクロールして **Deployment** および **Create a route to the application**が選択されていることを確認します。
- Create** をクリックします。Pod のデプロイには数分かかります。
- 任意手順: **Topology** ペインから Pod のステータスを確認できます。 **nodejs** アプリケーションをクリックして、サイドバーを確認します。 **nodejs** ビルドが完了し、 **nodejs** Pod が **Running** 状態であることを確認して継続する必要があります。
- デプロイメントが完了したら、以下のような形式のルートロケーション URL をクリックします。

```
http://nodejs-<project>.<cluster_name>-<hash>.<region>.containers.appdomain.cloud
```

ブラウザの新しいタブが開き、以下のようなメッセージが表示されます。

```
Welcome to your Node.js application on OpenShift
```

- 任意手順: 作成したリソースをクリーンアップするには、パースペクティブスイッチャーから **Administrator** を選択し、 **Home** → **Projects** に移動し、プロジェクトのアクションメニューをクリックし、 **Delete Project** をクリックします。

## 1.6. クラスターのスケールリング

OpenShift Cluster Manager (OCM) から OpenShift Dedicated クラスターをスケールリングできます。

### 手順

- OCM から、サイズを変更するクラスターをクリックします。
- Actions** → **Edit load balancer and persistent storage** をクリックします。
  - ドロップダウンメニューを使用して、スケールリングする **ロードバランサー** の数を選択します。
  - ドロップダウンメニューを使用して、スケールリングする **Persistent storage** 容量を選択します。
  - Apply** をクリックします。スケールリングは自動的に実行されます。
- Actions** → **Edit node count** をクリックします。
  - ドロップダウンメニューを使用して、スケールリングする **Machine Pool** 設定を選択します。
  - ドロップダウンメニューを使用して、スケールリングする **Node Count** を選択します。
  - Apply** をクリックします。スケールリングは自動的に実行されます。

### 検証

- Details** 見出しの **Overview** タブで、 **Status** インディケータがクラスターが使用できる状態の **Ready** であることを示します。

## 1.7. クラスターの削除

OpenShift Cluster Manager (OCM) で OpenShift Dedicated クラスターを削除できます。

#### 手順

1. [OpenShift Cluster Manager \(OCM\)](#) で、削除するクラスターをクリックします。
2. **Actions** → **Delete Cluster** をクリックします。
3. 太字で強調表示されているクラスターの名前を入力してから **Delete** をクリックします。

クラスターの削除は自動的に実行されます。